

整備地である旧福山市体育館跡地と五本松公園内に移築されますが、12月補正予算では、具体的な配置を検討する費用として5百万円、次年度以降の設計業務委託費6千万円を確保する債務負担行為が盛り込まれました。

**移築に約5億円
屋根交換6千万円**

クラゲ館移設で五本松公園を再整備？



A portrait photograph of Dr. Ng Yiu-kai, a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a dark suit and tie.

発行：日本共産党
福山市議会議員団
津之郷町津之郷 970-1
084-952-2662

**市が力キ被害への支援を実施
海洋環境の改善強化を**

瀬戸内海を中心に昨年の9月以降に広まつた力キのへい死問題で、市の調査では市内の力キ養殖においても8割9割が被害を受けていたことが明らかになりました。

市は12月補正予算において、養殖業者が力キ種苗を購入する費用の3分の2を支援する補助や、事業継続にかかる借り入れの無利子化など、5百万円の費用を盛り込みました。また、広島県は事業者が再養殖のために力キいかだを作り直す費用の2分の1（1台当たり上限50万円）を補助します。

市内で養殖されている力キはすべて3倍体という品種で、育成期間が比較的短期間で済むため、再養殖が早期に実施できれば、次の出荷ピークに間に合わせることができ、被害を最小限にとどめることができます。

根本は海洋の悪化支援・改善の両輪で
しかし、今回の大規模な
へい死の要因は、温暖化に
よる海水温の上昇のみなら
ず、海洋環境の悪化による
極度の貪酸素の問題も指摘
されています。

福山市近海では、近年、
ミズクラゲの大量発生や、
アイゴによる藻場の食害な
ど、海洋環境の悪化が漁獲
量の減少だけでなく漁業の
継続にも影響を及ぼす状況
が深刻化していました。

みよし剛史市議は、再養
殖された力キが再び被害を
受ける可能性もあり、海洋
環境の改善が迫られている
ことを指摘し、現在実証中
の海底耕うんや、牡蠣殻の
散布による海底の底質改善
の取り組みの本格事業化を
求めました。

国の総合経済対策を踏まえた物価高騰支援策にかかる補正予算が12月18日の予算特別委員会で審議され、全会一致で可決されました。総額50億円の物価高騰対策で、具体的な内訳は、子ども一人当たり2万円の給付に約15億円、市民一人当たり5千円の商品券配布(住民税非課税等の方には1万円)に約30億円、賃上げを行う中小企業の設備導入の補助に約3.4億円、保育・介護・障害福祉施設への応援金として約1.4億円です。

費用の約1割にあたる2.8億円が配布業務の委託費として計上されています。

みよし市議は、物価高騰対策は継続的な支援が求められており、経費がかからず市民生活と事業者への支援となる、水道の基本料金の減免などの手法も検討するよう求めました。

商品券・賃上げ・福祉施設支援・
継続的な物価高支援を

ご意見・ご要望をお寄せください。メール info@f-jcp.com <http://www.f-jcp.com>